

学校目標

『チーム文花中として、生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばし、社会に貢献できる生徒を育む学校』を目指す。

I 教育目標、育てたい生徒像、目指す学校像、目指す教師像

【教育目標】

21世紀を担う社会の一員として、自分の人生を切り拓いていける生徒の育成を目指し、次の目標を掲げる。

○豊かな心をそなえ、自ら学び・考え、健康で安全な生活を営み、たくましく生きる生徒

(1) 育てたい生徒像

- ① 多様な文化や互いの人権を尊重し、自他を大切にする生徒
- ② 学ぶことの意義と喜びを知り、自立した学習者として自ら学び・考える生徒
- ③ 心身共に健康で、文武両道の精神をもち、何事にも粘り強く取り組む生徒
- ④ 国際社会の一員として、社会に貢献できる生徒

(2) 目指す学校像

- ① 「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力や学ぶ力が身に付く学校
- ② ICT機器の効果的な活用とアナログのベストマッチによる学びを推進する学校
- ③ 人権を尊重し、昼間学級や他の都内夜間学級との交流など、多様な文化の理解を積極的に推進する学校
- ④ チーム文花中として、学校・家庭・地域が力を合わせ共に歩む学校

(3) 目指す教師像

- ① 生徒に対する教育的愛情と、教育に対する情熱・誇りをもち、協働できる教師
- ② 高い指導力をもち、生徒の生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばせる教師
- ③ 教育公務員として職責を自覚し、常に研鑽に励み、サービスの厳正を図ることができる教師

2 令和8年度の重点

(1) 「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力や学ぶ力が身に付く学習指導

- ① 「授業で勝負！」を合言葉に、綿密な授業・評価計画に基づき、主体的・対話的で深い学び（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実）を実現する。
- ② 毎日の授業・家庭学習を大切にさせ、毎回の授業でアウトプットさせ、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ③ ICT機器の効果的な活用とアナログのベストマッチによる学びを実現する。
- ④ 認め励ます「ほめて育てる」指導、「できた」という達成感を充実させる工夫を通して、生徒の自己肯定感を高める。
- ⑤ 授業力の向上を目指し、常に自己研鑽に努める。
- ⑥ 生徒の「授業評価」を活用し、授業改善を図る。

(2) 基本的な生活習慣の定着と豊かな人間関係を育成する生活指導

- ① すべての教育活動を通して、偏見や差別をなくし、自他の生命、人権を尊重する教育を推進する。
- ② 教師が率先垂範し、挨拶や身だしなみ、時間や約束を守る指導を充実し、社会のマナー・ルールを理解・実践できる生徒を育成する。
- ③ 教育相談を通して、生徒一人一人の心のケアを図る。スクールカウンセラーや外部相談機関と連携し活用を図る。
- ④ いじめ・問題行動・不登校への対応は、集団活動を通じた「心の居場所づくり」「絆づくり」による未然防止と、「共通理解・全員指導」をスローガンとした早期対応により解決を図る。

(3) 自主的な活動の促進と感動ある学校行事の創造

- ① 「人は環境で育つ。その環境は人がつくる。」という認識のもと、自主的な活動を促進し、自主性や主体性を育成する。
- ② 学校行事の充実や東京都夜間中学校研究会の連合行事への積極的な参加を図り、所属感、連帯感を育み、コミュニケーション能力と当事者意識の向上を図る。

(4) 保護者・地域に開かれた学校づくり

- ① 家庭・地域との連携を図り、信頼関係を深め、協力して生徒の力を伸ばす学校を目指す。
- ② 学校HP・すぐ～る配信等を活用し、学校の教育活動を保護者・地域に広く公開し、協力を得る。
- ③ 「地域ふれあい祭り」等の地域の学校協力団体の行事等に積極的に協力する。
- ④ 「学校評価」活用し学校教育の充実・改善を図る。